

授業科目名	法学の基礎	科目コード	G0201P05
英文名	Fundamental Study of Law		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解基礎科目		
------	---------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	後藤 智
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この授業では、法学という学問分野を初めて学ぶという学生を対象とし、法とは何かということについての検討を通じて、法制度に関する基本的知識を得ることと法的なもののみかたや考え方の基本を修得することをねらいとしています。人権保障の意味についての正確な理解にも努めます。まずは法や法学についての基礎的知識を得ることから始め、具体的な事例を素材に自分で考える訓練をしていきましょう。			
-------	--	--	--	--

キーワード	法の役割	法の機能	法と正義	人権保障	法の歴史的展開
-------	------	------	------	------	---------

到達目標	<p>目標 : 法と人権保障の関係についての理解を行うことができる。</p> <p>目標 : 自分自身の生活とのかかわりで「法」を捉え、自分が社会生活を送る上で必要な法制度の基本的意味が理解できる。</p> <p>目標 : 「暗記する(覚える)」学習にとどまるのではなく、実際の具体的な事例を踏まえつつ、客観的に問題の所在を把握し、論理的に考える力を養うための学習ができるようになる。</p>			
------	--	--	--	--

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力(社会性の向上)	
-----------	---------------------	--

カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上
------------	-----------------	------------------

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、受講上の諸注意 事前学習（予習）のすすめ 「法を学ぶ」ということの意味について	
	【予習】「授業外学習等」欄参照（第2回以下同じ）。	30分
	【復習】「授業外学習等」欄参照（第2回以下同じ）。	30分
第2回	1 私たちと法のかかわり 法とは何か 社会規範としての法、法と規範（ルール）、法と他の社会規範との異同、権利の体系としての法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	1 私たちと法のかかわり（続き） （続）法とは何か 法の目的・機能・役割、国家の存在意義、法の存在形式（法源）、法の効力関係 * 法規範の特質と機能	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	2 法の歴史的展開 前近代から近代そして現代へ (1) 西欧的近代法の成立、その意義・内容と展開...国民主義、民主主義、立憲主義、法治主義という概念	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	2 法の歴史的展開 前近代から近代そして現代へ（続き） (2) 近代法から現代法へ * あらためて、法の役割とは？ * 法と統治機構 * 国家や多数者によっても侵害できない基本的人権 * 人権保障と実質的平等	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	2 法の歴史的展開 前近代から近代そして現代へ（続き） (3) 日本における法の歴史と法意識 * とくに第2次世界大戦前と後の違い * 日本人の法意識	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	3 法学の学び方 (1) 法解釈と価値判断 * 法的価値判断の基準とは？ * 法解釈の意味、その主体	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第8回	3 法学の学び方（続き） (2) 法を学ぶことの意義、法的思考とは * 客観的事実に基づく論理的思考 * 結論に至るプロセスや価値判断の重要性 * 法的に保護される価値としての人権	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	4 憲法はなぜ必要なのか (1) 憲法の究極の価値 (2) 最高法規とは	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	4 憲法はなぜ必要なのか（続き） (3) 民主主義と少数者の人権 * 多数意思による少数者の人権侵害・人権抑圧の防止と憲法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	4 憲法はなぜ必要なのか（続き） (4) 「憲法改正ができる仕組み」の持つ意味とは * 憲法改正手続...なぜ国会議員の「過半数」ではなく「3分の2以上」なのか。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	5 法と正義 (1) 正義と法的安定 (2) 正義の観念および正義論の特質	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	5 法と正義（続き） (3) 法的安定性とは * 法の明確性 * 罪刑法定主義と法の安定 * 法の解釈と法的安定性 * 日本の現実と法的安定性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	6 裁判と法 (1) 権利救済・実現の制度としての裁判・司法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第15回	6 裁判と法(続き) (2) 日本の裁判制度 *裁判・裁判所の種類 *裁判の仕組み *刑事裁判における裁判員制度	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>原則として、期末筆記試験(70%)と受講態度(30%)とによって評価します。 授業において課題を課した場合には、その提出状況および内容をも加味した評価を行います(期末筆記試験配点分の一部をそちらの評価分に充てます。その場合の配点については、授業中に明示します)。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。</p>		
使用資料 <テキスト>	伊藤真『伊藤真の法学入門補訂版』(日本評論社、2017年)。	使用資料 <参考図書>	渡辺洋三『法とは何か 新版』(岩波新書、1998年)、村上英明他編『なるほど!法律学入
授業外学修等	<p>テキストや配付資料を事前に読んで予習ノートを作成することなどが必要です。とくにテキストは次回に授業で取り上げる箇所はわかるはずですから、必ず事前学習をしておきましょう。事前学習をもとに発表をしてもらうこともあります。上に示した参考図書以外にも図書館には法学入門的なテキストはいくつかあります。図書館へ通って、そうした文献を見つけ、読む努力もしてください。 また、授業では実際に進行中の社会現象を取り上げて説明することもあります。新聞記事を利用することもあります。日</p>		
授業外質問方法	<p>メール等での質問も受け付けますが、原則としては、直接会ってやりとりをしたいと思います。そのほうが、的確に対応できるからです。オフィス・アワー以外の時間でも対応可能なときもあります。これについてはメール等で問い合せてください。メールアドレスは、授業時間中に伝えます。</p>		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限		

授業科目名	中国語 bクラス	科目コード	G0401P03
英文名	Chinese I		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目
------	--------------------------------

職名	客員准教授	担当教員名	銭 輝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	中国語の初歩的な発音と声調から始め、基礎文法を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、ヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。中国文化も授業の中の一貫として行います。一年間で基礎的な中国語を応用できる力を身に付けること、異文化理解ができるようになることを目指します。				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	発音	文法	会話	応用練習	身につける
-------	----	----	----	------	-------

到達目標	<p>目標1：中国語のピンインに基づいて、正しく発音ができること。</p> <p>目標2：基礎文法を正しく応用ができること。聞いてわかるようになり、簡単な日常会話ができることを目指す。</p> <p>目標3：中国文化が知った上での異文化理解ができること。</p>				
------	---	--	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
-----------	-------------------------	--

カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	
------------	-----------------	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	中国語について 第1課 声調・単母音 挨拶言葉	
	【予習】CDを聴きながら、声調と母音を練習する	0分
	【復習】声調と母音を覚えるようにする・挨拶言葉の応用練習	0分
第2回	第2課 複母音・挨拶言葉	
	【予習】複母音の練習	0分
	【復習】挨拶言を覚え、単母音・複母音が書けるようにする	0分
第3回	第3課 子音 挨拶言葉	
	【予習】母音の練習	0分
	【復習】挨拶言葉を覚え、子音が書けるようにする	0分
第4回	第4課 鼻母音 挨拶言葉	
	【予習】母音・複母音・鼻母音を聞く	0分
	【復習】挨拶言葉を覚え、母音・子音が書けるようにする	0分
第5回	発音ルール 発音総合練習 発音段階のテスト	
	【予習】発音ルールを身につける・漢詩を聞く	0分
	【復習】発音ができ、ピンインが書けるようにする	0分
第6回	第5課 断定文「～是～」の使い方	
	【予習】CDを聴きながら、読む練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	0分
第7回	第5課 自己の国を紹介する方法	
	【予習】自己の国を紹介する資料を準備する。	0分
	【復習】自己の国を紹介する発表練習	0分
第8回	第5課 練習問題・小テスト	
	【予習】第5課 ポイント1～3	0分
	【復習】本文を暗誦する	0分
第9回	第6課 自己紹介の仕方	
	【予習】名前の言い方、相手への聞き方	0分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	0分

第10回	第6課 相手の名前の尋ね方	
	【予習】単語と本文	0分
	【復習】ポイント2と3の内容	0分
第11回	第6課の応用練習 / グループ毎に発表	
	【予習】作文練習	0分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	0分
第12回	第5課と第6課の内容を使っでの発表会	
	【予習】作文用の材料を準備	0分
	【復習】第5課・第6課の内容を復習	0分
第13回	第7課 ポイント1 動詞述語文	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】動詞述語文を作る練習	0分
第14回	第7課 ポイント2、3疑問文	
	【予習】単語と本文	0分
	【復習】ポイント2、3の内容	0分
第15回	第7課 本文と応用練習	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】練習問題	0分
第16回	中間テスト (5課～7課)	
	【予習】テスト勉強	0分
	【復習】テスト範囲	0分
第17回	第8課 ポイント1 助動詞「想」	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】助動詞「想」の文を練習	0分
第18回	第8課 ポイント2連動文とポイント3「喜欢」	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】ポイントの内容	0分

第19回	第8課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第20回	第9課 ポイント1「量詞」・ポイント2存在を示す「有」	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイントの内容	0分
第21回	第9課 ポイント3「数字の言い方」	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】数字の言い方の練習	0分
第22回	第9課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第23回	第8課と第9課の内容を使つての発表会	
	【予習】作文用の材料を準備	0分
	【復習】第8課・第9課の内容を復習	0分
第24回	第10課 ポイント1「請」・ポイント2「过」	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイントの内容	0分
第25回	第10課 ポイント3「形容詞述語文」	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】ポイントの内容練習	0分
第26回	第10課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第27回	第11課 ポイント「在」「方位詞」	
	【予習】新出語句	0分
	【復習】ポイント内容の練習	0分

第28回	第11課 ポイント3前置詞「从, 往, 离」	
	【予習】本文を聞く	0分
	【復習】前置詞の練習	0分
第29回	第11課 本文と応用練習	
	【予習】インタビュー内容	0分
	【復習】練習問題	0分
第30回	第10課と第11課の内容を使つての発表会	
	【予習】作文用の材料を準備	0分
	【復習】第10課・第11課の内容	0分
第31回	期末テスト範囲	
	【予習】テスト勉強	0分
	【復習】テスト範囲	0分
第32回	期末テスト	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	1. 授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ）、課題完成度（予習、復習、宿題）50% 2. テストの成績50% 3. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って、評価する。
------	---

使用資料 <テキスト>	陳淑梅・劉光赤「実学実用初級中国語」 朝日出版社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
----------------	-----------------------------	----------------	----------------

授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違つても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（湯研究室424研究室）
オフィス・アワー	火曜日2限

授業科目名	フランス語	科目コード	G0401P09
英文名	French		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目
------	--------------------------------

職名	教授	担当教員名	大谷 孝行
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 金曜日	時限	3限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	フランス語が使われている国は、フランス以外にも、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカ諸国等、たくさんあります。英語以外にももう1か国語学ぶことで、あなたの視野は確実に広がるでしょう。この授業では、初めてフランス語を学ぶ人を対象に、フランス語のアルファベットからスタートし、順次フランス語の文章の仕組みを学習していきます。フランス語は発音が少し難しいので、つづりの読み方や発音の仕方には特に注意を払って勉強します。また、映像教材を見ながらフランス各地を旅して、広くフランス文化を学びます。			
-------	--	--	--	--

キーワード	発音	初級文法	初級会話	フランス文化
-------	----	------	------	--------

到達目標	<p>目標1：フランス語の綴りを発音できる。</p> <p>目標2：フランス語の簡単な文章の「読む、書く、話す、聞く」ができる。</p> <p>目標3：フランス各地の特色（観光名所、歴史的建築物、郷土料理など）を学ぶ。</p>			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
-----------	---------------------

カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上
------------	-----------------

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	フランス語のアルファベ フランス語のアルファベの発音を学び、自分の名前の綴りをアルファベで言ってみる。	
	【予習】	0分
	【復習】 アルファベを暗唱できるようにしておく。	30分
第2回	会話「こんにちは」、「はじめまして」。 フランス語で簡単なあいさつを試してみる。	
	【予習】	0分
	【復習】 簡単なあいさつ表現の暗唱。	30分
第3回	名詞の性と数 名詞の男性名詞と女性名詞、単数形と複数形について。数詞の1～10まで。	
	【予習】	0分
	【復習】 男性形と女性形についての復習。	30分
第4回	会話「切符を買う」。冠詞 不定冠詞と定冠詞について。	
	【予習】	0分
	【復習】 名詞の数と性に応じた冠詞の使い分けを復習しておく。	30分
第5回	会話「切符を買う」。動詞être と強勢人称代名詞 英語のbe動詞にあたる動詞êtreについて。	
	【予習】	0分
	【復習】 動詞êtreの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第6回	動詞être と強勢人称代名詞 動詞être と強勢人称代名詞を使ったやや難しい表現。	
	【予習】	0分
	【復習】 強勢人称代名詞の種類と用法についての復習。	30分
第7回	会話「どこにお住まいですか？」 第1群規則動詞(er動詞)について。	
	【予習】	0分
	【復習】 第1群規則動詞(er動詞)の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第8回	会話「どこにお住まいですか？」 動詞avoir について。	
	【予習】	0分
	【復習】 動詞avoirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第9回	指示形容詞。avoirを使った慣用表現 「この、その、あの～」という表現。avoirを使った様々な表現を学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】指示形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第10回	会話「小銭を持っていません」 否定文の作り方。数えられない名詞につく部分冠詞。	
	【予習】	0分
	【復習】否定文の作り方についての復習。	30分
第11回	会話「小銭を持っていません」 否定文に使われるde。	
	【予習】	0分
	【復習】否定文に使われるdeについての復習。	30分
第12回	所有形容詞。様々な否定表現 「私の～、君の～」という表現。様々な否定表現を学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】所有形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第13回	基本数詞 1～100までの数詞を学ぶ。	
	【予習】	0分
	【復習】基本数詞の暗唱。	30分
第14回	総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。	
	【予習】	0分
	【復習】授業内容の復習。	30分
第15回	総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。	
	【予習】	0分
	【復習】授業内容の復習。	30分
第16回	中間試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第17回	会話「会場に入りましょう」。命令法 相手に合わせた命令文の作り方。	
	【予習】	0分
	【復習】命令文の作り方についての復習。	30分
第18回	会話「会場に入りましょう」 形容詞の性数変化について。	
	【予習】	0分
	【復習】形容詞の性数変化についての復習。	30分
第19回	命令文と形容詞 様々な命令文の作り方と形容詞を使った表現。bonを使った慣用句について。	
	【予習】	0分
	【復習】bonを使った慣用句について暗唱。	30分
第20回	会話「これは何ですか？」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。	
	【予習】	0分
	【復習】疑問代名詞についての復習。	30分
第21回	会話「これは何ですか？」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。	
	【予習】	0分
	【復習】疑問副詞を使った文章を暗唱。	30分
第22回	前置詞のde、àと定冠詞le、lesの縮約。 C'est ~で感想を言う。	
	【予習】	0分
	【復習】前置詞と定冠詞の縮約についての復習。	30分
第23回	会話「ここで写真は撮れません」 pouvoir「～できる」、vouloir「～したい」。	
	【予習】	0分
	【復習】動詞pouvoir、vouloirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第24回	会話「この絵の中ではどれが好きですか？」 疑問代名詞「どれ?」「どちら?」	
	【予習】	0分
	【復習】疑問代名詞についての復習。	30分

第25回	会話（様々な依頼文） pouvoirとvouloirを使って様々な依頼文を作る。	
	【予習】	0分
	【復習】 依頼文、許可を求める文の暗唱。	30分
第26回	パリ散策(1) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。	
	【予習】	0分
	【復習】 フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第27回	パリ散策(2) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。	
	【予習】	0分
	【復習】 フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第28回	パリ散策(3) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。	
	【予習】	0分
	【復習】 フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第29回	総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。	
	【予習】	0分
	【復習】 授業内容の復習。	30分
第30回	総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。	
	【予習】	0分
	【復習】 授業内容の復習。	30分
第31回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第32回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	毎回の小テスト (50%)、期末試験 (50%)による総合評価。		
使用資料 <テキスト>	田村弘行『フランス語で<ようこそ>』三修社。	使用資料 <参考図書>	授業中に随時紹介します。
授業外学修等	毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。		
授業外質問方法	オフィスアワー時に直接質問を受けます。		
オフィス・アワー	木曜日2限。		

授業科目名	Intensive English	科目コード	G0401P15
英文名	Intensive English		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	This class focuses on the four skills of English with an emphasis on cultivating academic English skills for university work and study abroad. Through reading, discussion, and short writing assignments, students will gain confidence in using English while increasing their fluency. Students will compile what they have learned into two presentation projects about global and local cultural topics.				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	Listening	Speaking	Reading	Writing	Discussion
-------	-----------	----------	---------	---------	------------

到達目標	1 Improve listening, speaking, reading, and writing skills. 2 Gain confidence in English conversation and discussion. 3 Promote cultural awareness and interest on a global and local scale. 4 Develop English presentation skills using PowerPoint 5 Become an " international person " with flexible communication skills				
------	---	--	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
-----------	-------------------------	--	--	--	--

カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
------------	-----------------	--	--	--	--

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction; rules and policies	
	【予習】	0分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	0分
第2回	Student introduction and the power of English; getting to know each other	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第3回	Culture and identity 1	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第4回	Culture and identity 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第5回	Current events 1: students will read, listen and discuss based on current national or international news topics	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第6回	Current events 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第7回	" International Toyama " 1: Talking about the local area in English	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第8回	" International Toyama " 2: Discovering other cultures in Toyama	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第9回	Student-chosen topics: teacher will provide materials based on student interest and choice	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第10回	Student-chosen topics 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第11回	Music and language: exploring the connection between music and English	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第12回	Music and language 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第13回	Combining image and language: how photos, drawing, and other visuals can enhance communication; presentation project will be introduced	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第14回	Presentation practice and conferencing	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Bring any questions or concerns about the presentation to the next class	30分
第15回	Presentation (short small group presentation in English)	
	【予習】 Practice presentation alone and with group	60分
	【復習】 Evaluate presentation result: how could it be improved?	30分
第16回	Mid-term evaluation, exam, and conferencing	
	【予習】 Prepare for the mid-term using materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Reflect on the term: write a self-evaluation	30分
第17回	Health topics: talking about health in English	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第18回	Health topics 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第19回	Food topics: talking about food, nutrition, and food culture in English	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第20回	Food topics 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第21回	Student-chosen topics 3	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第22回	Student-chosen topics 4	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第23回	Current events 3	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第24回	Current events 4	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第25回	Environmental topics 1: Understanding and discussing environmental issues in English	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第26回	Environmental topics 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第27回	Finding a balance: the art of living in the world	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

	Exploring the connection between international and local	
第28回	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
	Review of semester: student-led discussion; presentation project will be introduced	
第29回	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Pre-write: review and summary of the semester	30分
	Group presentation practice	
第30回	【予習】 Practice for presentation alone and with group	60分
	【復習】 Identify strengths and weaknesses of presentation	30分
	Presentation	
第31回	【予習】 Practice for presentation alone and with group	60分
	【復習】 Evaluate presentation result: how could it be improved?	30分
	Final evaluation and conferencing	
第32回	【予習】 Prepare for final evaluation using class notes and materials from teacher	60分
	【復習】 Reflect on the term: write a self-evaluation	30分

評価方法	Class participation (in-class discussion and exercises) 10% Homework and assignments 30% Midterm presentation project 20% Final presentation project (including final exam) 30% Vocabulary quiz 10%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students are required to take part in English Café activities.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	木曜日 2限 Thursday, second period		

授業科目名	TOEIC	科目コード	G0401P13
英文名	TOEIC		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目
------	--------------------------------

職名	講師	担当教員名	伊藤 雄馬
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	TOEICの各パートの解き方や勉強方法について学びます。また、TOEICの世界に隠された法則を学びます。講義外学習として、文構造を描く、ASDを行います。		
-------	---	--	--

キーワード	TOEIC	Reading	Writing		
-------	-------	---------	---------	--	--

到達目標	Students will... 1. apply the techniques learnt from this class to TOEIC 2. produce English sentence structures with Analitic Sentence Diagram		
------	--	--	--

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)		
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction How to take Part 1	
	【予習】	0分
	【復習】 Task	90分
第2回	How to take Part 2 Activity of Part 2	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分
第3回	How to take "Part 3 Conversations" and "Part 4 Talks" (1)	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分
第4回	How to take "Part 3 Conversations" and "Part 4 Talks" (2)	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分
第5回	How to take "Part 3 Conversations" and "Part 4 Talks" (3)	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分
第6回	How to take "Part 3 Conversations" and "Part 4 Talks" (4)	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分
第7回	Mid-term exam	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分
第8回	How to take Part 5	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分
第9回	How to take Part 6	
	【予習】 Task	90分
	【復習】 Task	90分

第10回	How to take Part 7 (1)	
	【予習】Task	90分
	【復習】Task	90分
第11回	How to take Part 7 (2)	
	【予習】Task	90分
	【復習】Task	90分
第12回	How to take Part 7 (3)	
	【予習】Task	90分
	【復習】Task	90分
第13回	Hidden rules (1)	
	【予習】Task	90分
	【復習】Task	90分
第14回	Hidden rules (2)	
	【予習】Task	90分
	【復習】Task	90分
第15回	Preparation for the final exam	
	【予習】Task	90分
	【復習】Task	90分
第16回	Final exam	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ Class attendance and attitude in class: 30% ・ Task :30% ・ Mid-term : 0% ・ Final exam : 40% 		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	辞書
授業外学修等	タスクを計画的に行うことを強く推奨します。やり方は講義内で説明します。		
授業外質問方法	研究室、eメールにて受け付けます		
オフィス・アワー	要事前相談		

授業科目名	経営の基礎	科目コード	G0201P07
英文名	Fundamentals of Business Management		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解基礎科目		
------	---------------------------	--	--

職名	講師	担当教員名	伊藤 葵
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	3限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	ビジネス・マネジメントには、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」などの資源をどのように組み合わせ、製品を製造・販売、もしくはサービスの提供をしていくかの視点が必要です。この講義では、これらの資源をどのようにマネジメントするのかについて学びます。ビジネス・マネジメントの基礎的な知識を理解することで、これからの学習の基盤を構築することを目指します。		
-------	---	--	--

キーワード	ビジネスの担い手	マネジメント	グローバリゼーショ		
-------	----------	--------	-----------	--	--

到達目標	<p>目標 : どのようなビジネスの担い手が存在するかを理解すること。</p> <p>目標 : 企業がどのようにマネジメントされているか全体像を理解すること。</p> <p>目標 : 関心のある企業のガバナンス体制、戦略、財務状況について理解すること。</p>		
------	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
-----------	-------------------------	--

カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上	
------------	-------------	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
---------------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
-------------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>ガイダンス 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】どのような内容を学ぶのか、テキストのまえがきや目次に目を通してきてください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第2回	<p>ビジネスと経済社会 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】テキスト第1部を事前に読み、内容をノートに整理してきてください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第3回	<p>ビジネスの担い手としての企業 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】テキスト第2部第4章を事前に読み、内容をノートに整理してきてください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第4回	<p>典型的な企業としての株式会社 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】テキスト第2部第5章を事前に読み、内容をノートに整理してきてください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第5回	<p>規制の下での企業間競争 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】テキスト第2部第6章を事前に読み、内容をノートに整理してきてください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第6回	<p>企業の社会的責任 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】テキスト第2部第7章を事前に読み、内容をノートに整理してきてください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第7回	<p>ビジネスのマインド 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】テキスト第3部第8章を事前に読み、内容をノートに整理してきてください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第8回	<p>人的資源のシステムとマネジメント 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。</p>	
	【予習】テキスト第3部第9章を事前に読み、内容をノートに整理してきてください。	30分
	【復習】授業で配布した資料やノートの内容を参考に、課題を提出してください。	30分

第9回	資金循環のシステムとマネジメント 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。	
	【予習】テキスト第3部第10章を事前に読み、内容をノートに整理してください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第10回	商品生産のシステムとマネジメント	
	【予習】テキスト第3部第11章を事前に読み、内容をノートに整理してください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第11回	マネジメントに指針を与える経営戦略 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。	
	【予習】テキスト第3部第12章を事前に読み、内容をノートに整理してください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第12回	マーケティングのマネジメント 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。	
	【予習】テキスト第3部第13章を事前に読み、内容をノートに整理してください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第13回	コストのマネジメント 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。	
	【予習】テキスト第3部第14章を事前に読み、内容をノートに整理してください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第14回	ビジネスとグローバリゼーション 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。	
	【予習】テキスト第4部第15～18章を事前に読み、内容をノートに整理してください。	30分
	【復習】授業の内容、新聞記事、映像資料、配布プリント、ノートの内容を参考に、小レポートを提出してください。	30分
第15回	総括 受講生が多く個別に意見を聞くことが難しい場合には、Googleフォームなどを活用して意見交換を行います。PCや携帯から自身の意見を送信できるように準備しておいてください。	
	【予習】授業内で配布した資料やノートに一通り目を通し、これまでに学んだ内容を総復習してから受講してください。	60分
	【復習】	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	受講態度および授業中に指定する課題への取組み（60％）、期末試験（40％）、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	柴健治『ビジネス・マインド第2版』文真堂	使用資料 <参考図書>	適宜指示します。
授業外学修等	テキストやノートの内容を復習するようにして下さい。また、社会の出来事を知るために、日常的に新聞を読むことを習慣付けましょう。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日1時限		

授業科目名	地域課題探求講座	科目コード	G1202P04
英文名	Regional problem exploration		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目		
------	------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	長尾 治明
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	本授業は今日の地域社会がどのような問題点や課題を掲げ、どのような対策を講じていくべきか、問題発見型・課題解決型学習を目指します。具体的には、最初に本科目の設置背景と問題意識について説明したのち、本授業を学び、理解していくうえにおいて、必要となる「思考法」と「分析法」について主だったものを解説することとする。後半は県内の地域社会の問題を少しでも具体的に理解し、論理的に、体系的に分析・発表できる力を養成するために、外部講師等を招聘して実践的な学習を行うこととする。更に、こうした一連の学習過程を通して、4年次の卒業研究や地域課題研究等に繋がることを期			
-------	---	--	--	--

キーワード	地域問題の発見	地域課題の設定	課題解決型学習		
-------	---------	---------	---------	--	--

到達目標	地域社会の問題点を発見する考え方や方法について理解すること。 地域課題の設定の考え方や方法について理解すること。 課題解決型学習の思考法と方法論について理解すること。			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得		

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス：本授業科目の背景 COC,COC+事業とは	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	心理測定と能力特性評価テストの作成方法について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	地方創生の背景と総人口減少時代	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	富山県の人口減少対策の考え方と施策	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	コンパクトシティ 政策について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	SDGs（持続可能な開発目標）について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	路面電車南北接続に伴う富山駅前街区のまちづくり	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	小規模多機能自治の推進について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	地方自治体が抱える今日的な地域課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

	地方創生からみたコンパクトシティ政策の評価（外部講師）	
第10回	【予習】	0分
	【復習】講義レポートの提出	120分
	SDGs（持続可能な開発目標）から考える産学官連携とは(外部講師)	
第11回	【予習】	0分
	【復習】講義レポートの提出	120分
	空家の現状と今日的課題（外部講師）	
第12回	【予習】	0分
	【復習】講義レポートの提出	120分
	体験型観光の現状と今後（外部講師）	
第13回	【予習】	0分
	【復習】講義レポートの提出	120分
	富山駅前街区のまちづくりの変貌（外部講師）	
第14回	【予習】	0分
	【復習】講義レポートの提出	120分
	総括 これまでの講義内容の振り返りと地域研究の今後	
第15回	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	レポート提出と評価点(40%)、授業態度(10%)、黄期末試験(50%)による総合評価		
使用資料 <テキスト>	パワーポイント原稿	使用資料 <参考図書>	適宜紹介
授業外学修等	講義レポート提出：5回(10回、11回、12回、13回、14回)		
授業外質問方法	メール、または出席カード		
オフィス・アワー	木曜日3限目		

授業科目名	子どもと国際交流	科目コード	K0304P11
英文名	International Cultural Exchange for Children		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応		
------	------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	5限目
開講時期	3年・4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	世界の国々の相互依存性や異なる文化を持つ人々の共存の必要性が益々高まる中、次代を築く子どもたちにどのような国際教育や国際交流体験を提供すべきかについて考え、この面での受講生の将来の教育実践の基礎をつくっていききたいと思います。教員のミニ講義、資料購読、フィールドワーク、個人発表、グループディスカッションを通して、実践的知識を身につけます。活発な参加を期待します。			
-------	--	--	--	--

キーワード	相互依存・共生	子ども	国際教育	国際交流	教育実践
-------	---------	-----	------	------	------

到達目標	1. 小学校での国際教育と国際交流活動について国内の多くの実践例から学び、独自の指導案や活動案が作成できる。 2. 小学生への英語教育の中で異文化との出会いがどのように設定されているかを学ぶ。 3. 富山県における国際交流活動に関する調査のためのフィールドワーク（姉妹校協定、スポーツ・文化事業、外国籍の子ども達への支援等についての調査）を行ない、身近にある実践と課題について学ぶ。			
------	---	--	--	--

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業ガイダンス、世界とのつながりを考える～グローバル化とは何か、多文化共生を巡る世界の問題	
	【予習】「グローバル化」という言葉であなたが意味していることを明確にして文で表してみよう	20分
	【復習】学習内容の復習	20分
第2回	富山を考える～多文化共生プラン、外国にルーツを持つ子ども達への支援、国際交流イベント	
	【予習】富山県（国際課）ホームページ検索	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第3回	日本を考える～異文化接触の歴史、自国の文化の対象化	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】クラスでのディスカッションを経て考えたことを文章化する	30分
第4回	日本文化の特徴を考える	
	【予習】あなたが考える日本文化の特徴を書いてみよう	30分
	【復習】クラスのディスカッションと資料購読を経て深まった内容を改めて書いてみる	30分
第5回	学校教育における国際教育と国際交流～なぜ必要か・何を育てるのか・どのように行なうか	
	【予習】第5回授業のテーマについて現時点でのあなたの考えを書いてみよう	20分
	【復習】資料購読とクラスのディスカッションを経て拡大、進化した考えをまとめて書いてみる	30分
第6回	小学校における国際教育と国際交流（1）：日本における実践の類型とカリキュラムとの関わり	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理	30分
	【復習】学習内容の復習	30分
第7回	小学校における国際教育と国際交流（2）：特色ある実践例 1	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理 ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分
第8回	小学校における国際教育と国際交流（3）：特色ある実践例 2	
	【予習】資料（プリント教材）の読解と要点整理 ・ 発表担当者はレジュメを作成	30分
	【復習】感想をまとめる ・ 発表担当者は受けた質問などを組み入れてレポート作成	30分
第9回	小学校における国際教育と国際交流（4）：小学校英語に組み込まれた異文化との出会い	
	【予習】小学生だった頃の英語や国際交流活動の経験を思い出してみよう	30分
	【復習】学習内容の復習	30分

	小学校における国際教育と国際交流（５）：日本における小学校英語の発展の歴史と今後	
第10回	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】日本の小学校英語の歴史的考察に関する要点の確認（小テスト）	30分
	県内で行なわれている国際交流活動に関するフィールドワーク ～ 富山市国際交流協会訪問	
第11回	【予習】フィールドワークでの質問項目の明確化	30分
	【復習】フィールドワークの結果報告書作成（グループワーク）	30分
	県内の学校で取り組まれている国際交流活動に関するフィールドワーク ～ 海外姉妹校を持つ学校の訪問	
第12回	【予習】フィールドワークでの質問項目の明確化	30分
	【復習】フィールドワークの結果報告書作成（グループワーク）	30分
	個人研究プロジェクト＜準備＞～「富山における子どもの国際交流活動」と私が描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
第13回	【予習】個人研究プロジェクトの構想	30分
	【復習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	個人研究プロジェクト＜調査＞～「富山における子どもの国際交流活動」と私が描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
第14回	【予習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	【復習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	個人研究プロジェクト＜発表準備＞「富山における子どもの国際交流活動と私が描く子どものための国際教育と国際交流活動」	
第15回	【予習】個人研究プロジェクト 調査活動	30分
	【復習】個人研究プロジェクトのまとめ	30分
	個人研究プロジェクト成果発表会	
第16回	【予習】個人研究プロジェクトの発表準備	30分
	【復習】	0分

評価方法	(1) 平常点：課題、宿題 (50%) (2) 個人研究プロジェクト (50%)		
使用資料 <テキスト>	プリント教材を配布します。	使用資料 <参考図書>	水越敏行・田中博之(編著)『新しい国際理解教育を創造する - 子どもがひらく異文
授業外学修等	(1) 次週の教材を必ず読み、ディスカッションに備えてください。 (2) 教材の輪読を行なう場合は、担当箇所の内容と自身の意見をまとめたプリントを作成し配付してください。		
授業外質問方法	研究室での面談 または Eメールでの連絡 mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	人間と環境	科目コード	K0502P01
英文名	Humans and Environment		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 環境と共生対応		
------	--------------------------	--	--

職名	准教授 教授	担当教員名	松山 友之 尾畑 納子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	身近な暮らしと環境の関わりや全地球的な自然環境のメカニズムと環境問題、E S Dについて概説する。			
-------	---	--	--	--

キーワード	暮らしと環境	環境問題	E S D		
-------	--------	------	-------	--	--

到達目標	1 幼児から小学生が、人間と環境の関わりを調べ、環境について考えるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付ける。 2 環境問題について多面的に考え、持続可能な社会を築き上げるためにどのように行動すればよいかを意思決定できる。			
------	--	--	--	--

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	富山の子ども育成

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 人間と環境の授業の紹介、「江戸時代の暮らしから現在の暮らしを考える。」	
	【予習】	0分
	【復習】・「江戸時代と現在の暮らしを比較して」小レポートにまとめ、提出する。	30分
第2回	暮らしと環境について、生活とは	
	【予習】	0分
	【復習】自分の1日の生活時間について整理する。	30分
第3回	食生活と環境	
	【予習】食生活と環境で気になっていることをまとめる	30分
	【復習】食の安全について関心のある事柄を小レポートにまとめ、提出する。	30分
第4回	衣生活と環境	
	【予習】家庭の中での衣服で問題点を探る。	30分
	【復習】衣服のリサイクルについて調べ、小レポートにまとめ、提出する。	30分
第5回	快適性と環境問題	
	【予習】	0分
	【復習】家庭用洗剤の表示（用途、成分）を3つまで書き写し、提出する。	30分
第6回	日本の環境問題の変遷	
	【予習】生活と環境の関わりについて考える	30分
	【復習】生活と環境問題の関わりにつてまとめ、提出する（課題）	60分
第7回	地球のプロフィール（生命の誕生と進化、地球環境の歴史）	
	【予習】・生命の誕生から進化について主な年代を調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・地球のプロフィールの授業内容からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分
第8回	地球温暖化と砂漠化（海面上昇、ヒートアイランド、森林破壊）	
	【予習】・地球温暖化の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・地球温暖化と砂漠化からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分
第9回	水質汚染と浄化（赤潮、マイクロプラスチック、重油流出）	
	【予習】・水質汚染の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・水質汚染と浄化の授業内容からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分

第10回	大気汚染とその対策（光化学スモッグ、PM2.5、黄砂、酸性雨、オゾン層の生成と破壊）	
	【予習】・大気汚染の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・大気汚染とその対策の授業内容からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分
第11回	生物環境の維持と食物生産（生物濃縮、遺伝子組換え食品、外来種、過放牧、乱獲）	
	【予習】・生物環境を破壊する原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・生物環境の維持と食物生産の授業内容からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分
第12回	環境破壊と伝染病（インフルエンザ、デング熱、エボラ出血熱）	
	【予習】・代表的な伝染病について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・環境破壊と伝染病の授業内容からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分
第13回	産業と公害（四大公害病、イタイイタイ病、ダイオキシン、鉱毒）	
	【予習】・公害の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・産業と公害の授業内容からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分
第14回	ESDとユネスコスクール（バイオマス、小水力発電、風力発電）	
	【予習】・ESDとユネスコスクールについて調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・ESDとユネスコスクールの授業内容からテーマを一つ選んで小レポートにして提出する。	30分
第15回	富山の自然環境とその保全（呉羽キャンパス、富山市・射水市の自然や環境保護の実態）	
	【予習】	0分
	【復習】人間と環境の授業から総合的に身近な自然や環境を保全し、住みやすい地域をつくることについて意見をレポートにまとめ提出する。	60分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	課題のレポート(80%)、15回の取組の状況及び小レポート等(20%)により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	プリント資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	予習復習の徹底。		
授業外質問方法	授業終了後またはメールで質問 (obata@tuins.ac.jp; matsuyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	松山：金曜2限		

授業科目名	人間と哲学	科目コード	K0102P03
英文名	Humans and Philosophy		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解		
------	-----------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	5限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	人間には「したいこと・したくないこと」という区別のほかに、「していいこと・してはいけないこと」という区別があります。人は動物的に生きるだけでは満足することができません。こうしたことを発見した人類の精神史をたどりながら、哲学的思考の特徴について理解を深めていきます。また、必要に応じて新聞雑誌記事資料やビデオ教材を使って、現代の時事的な問題や現実の問題について議論していきます。			
-------	--	--	--	--

キーワード	理性	不安	歴史		
-------	----	----	----	--	--

到達目標	議論することの大切さや、人間にとっての理性（ロゴス）の重要性を理解する。			
------	--------------------------------------	--	--	--

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1. 「人」としての資質・能力（人間性の向上）	4. 21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	1. 子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	講義概要と受講上の注意点	
	【予習】新聞を読んで、時事的な問題について理解を深める。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容をノートにまとめる	30分
第2回	現代における哲学...時事的な新聞資料から最近の大学教育について学ぶ。	
	【予習】新聞を読んで、時事的な問題の中に哲学的問題を探す。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容と哲学をノートにまとめる	30分
第3回	対話と哲学...哲学における議論や対話をする実践の意義	
	【予習】新聞資料をもとに、アクティブラーニングについて調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とアクティブラーニングについてノートにまとめる。	30分
第4回	哲学的な問いとは...大学教育における哲学の事例研究	
	【予習】教科書や新聞資料で、アクティブラーニングについて理解を深める。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とアクティブラーニングについてノートにまとめる。	30分
第5回	理性と社会(共同体)...人間の価値と共同体との関係	
	【予習】教科書等で、共同体主義の哲学を調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容共同体主義についてノートにまとめる	30分
第6回	人類の本質と歴史...理性の不安の目覚めと人類史	
	【予習】教科書等で、ロールズのリベラリズムについて調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とロールズについてノートにまとめる	30分
第7回	さまざまな歴史の見方...歴史をどう見るかについての議論	
	【予習】教科書等で、リベラリズム等の歴史の見方について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とリベラリズムについてノートにまとめる	30分
第8回	近代的な歴史の見方...近代啓蒙哲学の歴史の見方	
	【予習】教科書や百科事典で、啓蒙哲学について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容と啓蒙についてノートにまとめる	30分
第9回	現代的な歴史の見方...時事資料にみる現代の歴史観	
	【予習】百科事典等で、K.ヤスパースについて調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とヤスパースについてノートにまとめる	30分

第10回	人類史の基軸となった時代...20世紀の歴史観	
	【予習】百科事典等で、K.ヤスパースの歴史観について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とヤスパースの歴史観についてノートにまとめる	30分
第11回	神話から哲学へ...規範の変遷	
	【予習】百科事典等で、ギリシア哲学について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とギリシア哲学についてノートにまとめる	30分
第12回	自然の哲学...原理的思考の誕生	
	【予習】ギリシア哲学の自然哲学について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とギリシアの自然哲学についてノートにまとめる	30分
第13回	ピタゴラスの哲学宣言...哲学の本質の特徴	
	【予習】ピタゴラスについて、百科事典等で調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とピタゴラスについてノートにまとめる	30分
第14回	人間と社会	
	【予習】ソフィストについて、百科事典等で調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とソフィストについてノートにまとめる	30分
第15回	西洋理想主義哲学の源流...人間の心の発見	
	【予習】ソクラテスについて、百科事典等で調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、講義に出てきた高度な言葉を辞事典等で調べ、学んだ内容とソクラテスについてノートにまとめる	30分
第16回		
	【予習】	30分
	【復習】	30分

評価方法	期末試験又はレポート（70％）受講学習状況等の平常点（30％）で総合的に判断		
使用資料 <テキスト>	H.サンデル『ハーバード白熱教室講義録（上）』（ハヤカワ文庫NF）700円+税	使用資料 <参考図書>	必要に応じて指示する。
授業外学修等	新聞やニュースを読むとともに、授業に出た難しい言葉の意味を辞事典で調べて消化吸収する。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時、研究室等で受けつけます。		
オフィス・アワー	水曜2限		

授業科目名	子どもと環境	科目コード	K0501P03
英文名	Children and Environment		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 環境と共生対応
------	--------------------------

職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	子どもは自分が育つ環境を選ぶことはできない。未来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成育できる環境を保障することは、社会全体の責任である。授業では、幅広く子どもを取り巻く環境 = 子ども環境について考え、実践していくために必要な基礎的な知識を得ることを目的として学びを深める。			
-------	--	--	--	--

キーワード	子ども	環境	平和	世界市民
-------	-----	----	----	------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 子ども環境について興味をもち、多面的かつ総体的にとらえる視点をもつ。 子ども環境の現状を理解し、よりよい環境との共生について考える態度を養う。 			
------	--	--	--	--

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1. 「人」としての資質・能力（人間性の向上）	2. 教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	1. 子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日本の子どもの成育環境 - 「我が国の子どもの成育環境の改善に向けて - 成育コミュニティの課題と提言 -」(日本学術会議)から環境にかかわる子ども向けネット教材(子どもeco検定など)、こども環境管理士の紹介も行います。	
	【予習】関連情報サイトに目を通しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第2回	子どもと住環境及び遊び場・学びの場	
	【予習】自分自身が幼児・小学生の頃の住環境や遊び場・学びの場を思い出しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第3回	子どもの食環境を学ぶ(ジュニア農林水産白書・厚生労働省子どものページ 他)	
	【予習】関連HPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第4回	子どもの医療・療養環境(福岡子どもホスピスプロジェクト 他)	
	【予習】関連HPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第5回	子ども環境と街づくり -日本型子どもにやさしいまちモデル検証作業を中心に	
	【予習】子どもが街づくりに参画している国・地域について検索しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第6回	子ども環境と災害 - 子どもにやさしい空間」ガイドブック(2015ユニセフ)、子どもが元気に育つ復興まちづくりガイドライン(2012こども環境学会)を手がかりに	
	【予習】日本や世界の災害の様子について調べてくる。PC充電完了しておく。	0分
	【復習】授業内容をまとめる。	90分
第7回	子ども環境と自然 - DVD「フローズプラネット 激変する氷の大自然」(約30分)から	
	【予習】子どもに関わる現在の自然環境について関連記事を検索してくる。	90分
	【復習】授業内容をまとめる。	90分
第8回	子ども環境と自然 - エコチル調査を中心に	
	【予習】エコチル調査とは何かを調べておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第9回	子どもの成育環境を「こども環境白書」から学ぶ(環境省HP)	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

第10回	子どもの成育環境を「こども森林館」から学ぶ（林野庁HP）	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第11回	子どもの成育環境を「じゃぶじゃぶ川ねっと！」から学ぶ（国土交通省HP）	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第12回	子どもの未来環境を「ミライーノ広場」から学ぶ（経済産業省HP）	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第13回	『ESD QUEST』から持続可能な開発のための教育を学ぶ（文部科学省HP）	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第14回	世界の子ども環境を学ぶ（国連WFP・KIDS外務省・ユニセフイノチェンティ研究所・世界銀行 他）	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第15回	子ども環境と平和の文化	
	【予習】子どもの環境を守るために活動している団体や機関、人物などについて調べておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	受講態度（毎回の感想やレポート）30%、試験70%で評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	適宜配布する。	使用資料 <参考図書>	こども環境白書、林邦雄・谷田貝公昭監修 『子どもと環境』一藝社（2010）
授業外学修等	ペアで話し合うことが毎時間あります。着席時は複数で1テーブルに着席するようにしてください。 各授業に関連する子ども環境について、新聞やニュース、公式サイトなどに目を通すように心掛けてください。 PCでネット検索をする回がありますので、充電を忘れないようにしてください。		
授業外質問方法	授業後、オフィスアワー、メール（ishikura@tuins.ac.jp）などを利用して質問して下さい。		
オフィス・アワー	石倉：月曜日3限		

授業科目名	食と環境	科目コード	G3202P05
英文名	Food and Environment		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境系		
------	--------------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	佐山 春樹
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	日本の食生活は、海外からカロリーベースで60%もの食料を輸入することによって成り立っている。食料生産と共に自然環境の保全を担う日本の農業、水産業、林業は、食のグローバル化と市場経済が進む中、国際競争力に乏しく、後継者不足に悩み、その存続が危ぶまれている。その実態を考察し、原因を探り、解決策を考えていく。また授業ではトマト栽培も体験する。			
-------	---	--	--	--

キーワード	第一次産業	グローバル化	食生活の変化	食料生産	生物多様性
-------	-------	--------	--------	------	-------

到達目標	<p>目標 : 「食と環境」に関わる問題の重要性に気づき、その問題をどのように考え、解決していけばよいかを学ぶ。</p> <p>目標 : グループで協力しながら、課題解決を図ることを学ぶ。</p> <p>目標 : トマト栽培を体験し、農業の一端に触れると共に、作物を育てる喜びと大変さを学ぶ。</p>			
------	--	--	--	--

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力(社会性の向上)	
-----------	---------------------	--

カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	環境デザインに関する専門性の向上
------------	---------------	------------------

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の方針と概要説明	
	【予習】	0分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第2回	社会環境と食生活の変化 I	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第3回	社会環境と食生活の変化 I I	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 グループ発表の準備	60分
第4回	社会環境と食生活の変化 I I I (グループ発表)	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第5回	日本の農業はどうあるべきなのだろうか? I	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第6回	日本の農業はどうあるべきなのだろうか? I I	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 グループ発表の準備	60分

第7回	日本の農業はどうあるべきなのだろうか？ I I I (グループ発表)	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第8回	日本の水産業はどうあるべきなのだろうか？ I	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 グループ発表の準備	60分
第9回	日本の水産業はどうあるべきなのだろうか？ I I (グループ発表)	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第10回	日本の林業はどうあるべきなのだろうか？ I	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 グループ発表の準備	60分
第11回	日本の林業はどうあるべきなのだろうか？ (グループ発表)	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第12回	遺伝子組換え作物は安全か？	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分

第13回	農業は悪なのか？	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第14回	食料生産と生物多様性は両立するのか？	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第15回	「食と環境」のまとめ	
	【予習】 Websiteで授業の予習	20分
	【復習】 授業内容の復習	20分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	グループごとのトマト栽培 15% グループで提出する宿題 25% コメント用紙（出席率と授業態度）の提出 15% 個人レポート（1回）の提出 45% 以上、上記4項目の合計で評価する。		
使用資料 <テキスト>	授業の資料は、 http://orion.tuins.ac.jp/kokusai/sayama/ に入っている。学内で閲覧で	使用資料 <参考図書>	授業の中で随時示す。
授業外学修等	予習・復習の資料は、 http://orion.tuins.ac.jp/kokusai/sayama/ に入っているのので、各自ダウンロードするなりして学習してください。		
授業外質問方法	以下のメールアドレスで、いつでも質問等に対応する。メールアドレス：harukisayama1951@gmail.com オフィスアワーは特に設けないが、月曜2限の授業終了後から12：40までは、441教室にいるので質問等をしてください。		
オフィス・アワー	上の欄を参照		

授業科目名	生態学（ビオトープ含）			科目コード	G3302P02
英文名	Ecology (including Biotope Studies)				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 地球・自然環境系				
職名	非常勤講師	担当教員名	佐藤 杏子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	生態学は、生物と環境の相互作用に関する科学的研究を行う学問である。本講義では、生態学の基礎である生態系の成り立ちを理解するために、生物そして生物の種類、生物群集とその多様性を概説するとともに、生物と環境の関係性および物質循環、食物連鎖など、生態学の基礎および生態学的・生物学的なものの見方・考え方を学ぶ。				
キーワード	生物多様性	生態系	生物学的種概念	環境	生物群集
到達目標	<p>目標1：生物とは何かを、生命の歴史を通して理解する。</p> <p>目標2：生物の多様性の果たす役割とその重要性を理解する。</p> <p>目標3：生態系のなりたちとその重要性、物質循環、食物連鎖などから、地球規模での環境問題への取り組みや意義を理解する</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 授業の概要、到達目標、授業の流れ 生態学の入門と生物圏（概論） 生態学とは何か？、生態系、バイオームの多様性と分布	
	【予習】	0分
	【復習】第1回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 （質問があればレポート内に記入してください）	1分
第2回	生物とは何か？ 生物の多様性と共通性	
	【予習】	0分
	【復習】第2回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 （質問があればレポート内に記入してください）	1分
第3回	生物の起源と進化 生命の起源、生物進化の歴史、人類の進化、進化の証拠、進化のしくみ（進化論） 第1回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第3回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 （質問があればレポート内に記入してください）	1分
第4回	生命の連続性 生物の生殖、生活環、セントラルドグマ 第2回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第4回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 （質問があればレポート内に記入してください）	1分
第5回	生物多様性（1） 生物多様性との健全な生態系の持続、生物多様性の危機の現状と要因 第3回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第5回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 （質問があればレポート内に記入してください）	1分
第6回	生物多様性（2） 生態系の機能や安定性と生物多様性 第4回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第6回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 （質問があればレポート内に記入してください）	1分
第7回	野外観察（1）（アクティブラーニング） 生物多様性を理解する上で欠かせない種の同定を実際に体験する（種の同定の重要性和難しさを理解する） 雨天・荒天の場合は翌週に延期します。その場合、通常の講義を行いますので、講義を受講できる準備も必ずして来てください。講義の場合でも野外観察の場合でも前回（第6回）分のレポートは集めますので必ず持参してください。	
	【予習】第6回配布の野外観察についての資料をよく読み、野外観察に必要な持ち物を忘れずに持参して下さい。	0分
	【復習】第7回の野外観察のレポート（A4用紙1枚程度）を作成し、次回提出してください。 （質問があればレポート内に記入してください） 配布資料をよく読み、必要事項をきれいに書いてください。	1分

第8回	生物学的種概念と生物の分類（1） 系統と生命の樹、細菌と古細菌、原生生物、菌類 第5回・第6回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第8回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 (質問があればレポート内に記入してください)	1分
第9回	生物学的種概念と生物の分類（2） 植物・動物 第7回 野外観察のレポートについての共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第9回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 (質問があればレポート内に記入してください)	1分
第10回	野外観察（2）（アクティブラーニング） 生物多様性を理解する上で欠かせない種の同定を知識を得た上でもう一度体験する 雨天・荒天の場合は翌週に延期します。その場合、通常の講義を行いますので、講義を受講できる準備も必ずして来てください。講義の場合でも野外観察の場合でも前回（第9回）分のレポートは集めますので必ず持参してください。	
	【予習】第9回配布の野外観察についての資料をよく読み、野外観察に必要な持ち物を忘れずに持参して下さい。	0分
	【復習】第10回の野外観察のレポート（A4用紙1枚程度）を作成し、次回提出してください。 (質問があればレポート内に記入してください) 配布資料をよく読み、必要事項をもれなく書いてください。	1分
第11回	個体群と生物群集 第8回・第9回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第11回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 (質問があればレポート内に記入してください)	1分
第12回	生物群集と生態系 第10回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第12回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 (質問があればレポート内に記入してください)	1分
第13回	生態系の物質循環（1） 食物連鎖 第11回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第13回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 (質問があればレポート内に記入してください)	1分
第14回	生態系の物質循環（2） 炭素・窒素・酸素の循環 第12回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック	
	【予習】	0分
	【復習】第14回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。	1分

保全生態学・復元生態学 第13回のレポートの質問に対する回答・共有・フィードバック		
第15回	【予習】	0分
	【復習】第15回の講義内容を簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを作成し、次回提出してください。 第1回～第15回までの配布資料・レポートを役立てながら復習し、期末試験に備えてください。	1分
期末試験		
第16回	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	毎回、講義内容を各自簡単にまとめたA4用紙1枚程度のレポートを次回講義に提出していただき、それをもって出席とします。 学期末試験（40%）、レポート（30%）、学習及び受講態度（30%）
------	--

使用資料 <テキスト>	テキストは使用しません。 各回で資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	生態と環境（生物化学入門コース7） 松本忠夫 著 岩波書店
----------------	------------------------------	----------------	----------------------------------

授業外学修等	講義後次週までに、レポートをまとめながら各自復習してください。質問、よく理解できなかったところ、もっと詳しく説明して欲しかったところなども含めてレポートに書いて提出してください。
--------	---

授業外質問方法	原則として講義中または講義終了後に対応します。回答に時間がかかると思われる質問については後日回答します。
---------	--

オフィス・アワー	
----------	--

授業科目名	環境関係法	科目コード	G3403P05
英文名	Environment and Law		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 社会環境系		
------	--------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	後藤 智
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	3年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	環境問題は、今世紀に人類社会が直面している重大なテーマのひとつであり、空間的・時間的な広がりをみせつつ、拡大・複雑化しています。私たちの地域社会、さらには地球社会が、われわれの生存を保障しながら「持続可能な発展 (sustainable development)」を遂げていくためには、この問題への対処が不可欠です。この授業では、()日本における環境問題・環境法制についての基礎的知識を得るところから始め、()地域レベル・国内レベルにおける環境問題について認識し、()環境保全に関する法的規律の意義や必要性についての理解をすすめ、さらに()法的規律のあるべき姿について考えていきます				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	環境問題	環境保全	環境基本法	公害規制	環境権保護
-------	------	------	-------	------	-------

到達目標	<p>目標 : 環境問題について、事実に基づいた確かな現状認識を行うことができる。</p> <p>目標 : 環境問題への法的対応の必要性やその手法についての基礎的知識を得る。</p> <p>目標 : その上で、自ら考え、他者とも意見交換しながら、問題解決に向けた法的対応の糸口(方向性)を見出すことができる。</p>				
------	--	--	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	4.社会人としての能力(社会性の向上)
-----------	-------------------------	---------------------

カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	環境デザインに関する専門性の向上
------------	---------------	------------------

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、この授業の目的、成績評価の方法、受講上の注意など環境に関する法を学ぶにあたって必要なこととは。法令検索の方法等も。	
	【予習】「授業外学習等」の欄参照（第2回以下同じ）。	30分
	【復習】「授業外学習等」の欄参照（第2回以下同じ）。	30分
第2回	1 環境法の意義とその法的枠組み (1) 環境とは何か (2) 環境の意味の変遷	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	1 環境法の意義とその法的枠組み（続き） (3) 環境法の体系 1) 憲法の人権保障規定と環境基本法 2) 環境法の諸領域（環境法の「範囲」）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	2 環境法の基本原則 (1) 環境基本法上の環境保全の基本理念 (2) 持続可能な社会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	2 環境法の基本原則（続き） (3) 環境権保護 ・環境権の内容 ・環境権の法的保護の課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	2 環境法の基本原則（続き） (4) 汚染者負担 (5) 地方自治尊重、住民参加と情報公開 (6) 行政の環境保全責任	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	2 環境法の基本原則（続き） (7) アセスメント	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第8回	3 環境保全の担い手 (1) 国・地方公共団体 (2) 法人企業・事業者等、国民・住民	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	4 環境保全の手法 (1) 権力的手法・・・命令監督手法、土地利用規制を用いた手法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	4 環境保全の手法(続き) (2) 非権力的手法・・・経済的手法、情報手法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	4 環境保全の手法(続き) (3) その他の手法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	5 環境紛争とその解決方法 (1) 環境と民事紛争 1) 公害健康被害補償制度 2) 公害紛争処理制度 3) 損害賠償訴訟(含、国家賠償訴訟)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	5 環境紛争とその解決方法(続き) (2) 環境と民事紛争(続き) 4) 差止訴訟 5) 民事紛争の具体例...被侵害利益(侵害された権利)は何か等。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	5 環境紛争とその解決方法(続き) (3) 環境「行政訴訟」 ・その役割と類型...行政事件訴訟法に基づく訴訟、地方自治法に基づく訴訟	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第15回	6 国際環境紛争とその多様な解決方法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>基本的には、期末試験（70％）と受講態度（30％）とによって評価します。</p> <p>ただし、授業内容理解度テストを実施したり、授業中に課題の提出や発表を課した場合には、それをも加味して評価します（期末の課題についての配点分の一部をそちらの評価分に充てます。その場合の配点はそのつど明示します。なお、下の「授業外学習等」欄も参照のこと）。</p> <p>なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	<p>交告尚史・臼杵和史・前田陽一・黒川哲志『環境法入門【第3版】』（有斐閣、2015</p>	使用資料 <参考図書>	<p>北村喜宣『環境法 第4版』（弘文堂、2017年）、大塚直・北村喜宣編『環境法ケース</p>
----------------	---	----------------	--

授業外学修等	<p>事前学習として、最低限、教科書や配布資料の該当部分を欠かさず読んでくること。その範囲は、授業進行に応じて、そのつど指示します。ただし、指示されたもののみを読むだけでなく、図書館等を利用して、学術文献や新聞等による、より幅広い関係情報を自ら得る努力と、それについて「自分で考える学習」をすることが求められます。</p>
--------	---

授業外質問方法	<p>メール等での質問も受け付けますが、原則としては、直接会ってやりとりをしたいと思います。そのほうが、的確に対応できるからです。オフィス・アワー以外の時間でも対応可能なときもあります。これについてはメール等で問い合せてください。メールアドレスは、授業時間中に伝えます。</p>
---------	---

オフィス・アワー	<p>木曜日 2 時限</p>
----------	-----------------

授業科目名	経営戦略論			科目コード	G4302L01
英文名	Management Strategy				
科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略				
職名	講師	担当教員名	伊藤 葵		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	企業は、環境変化に適応するために、経営戦略を策定します。この講義では、経営戦略論における基礎的な概念や理論に基づき、経営環境分析、企業戦略、事業戦略、機能別戦略等について学びます。また、企業が実際にどのような経営戦略を行っているのか、具体的な事例なども取り上げながら、理論と実践の双方についての理解を深めます。				
キーワード	経営環境分析	企業戦略	事業戦略	機能別戦略	
到達目標	<p>目標 : 経営戦略における基礎的な理論を理解すること。</p> <p>目標 : 企業は経営戦略をどのように策定し、実行しているのかを理解すること。</p> <p>目標 : 関心のある企業の経営戦略について分析すること。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		経営情報に関する専門性の向上		
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】興味のある企業のIR資料や経営ビジョンに目を通してきてください。	30分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、課題を提出してください。	30分
第2回	戦略的思考とは 経営戦略において、戦略的に考えるとどのようなことが、身近な企業の戦略について考えます。受講数に応じてGoogleフォームなども活用しながら、意見交換もしていきます。	
	【予習】これまでの学校生活や部活動などにおいて、目的を達成するために戦略を計画し、実行した経験を整理してきてください。	30分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、課題を提出してください。	30分
第3回	経営環境分析とは 外部環境分析の必要性や分析に用いるフレームワークについて紹介します。グループワークでは、PEST分析などの手法で、実際に興味のある業界の外部環境について分析してもらいます。	
	【予習】興味のある業界を取り巻く経営環境について、事前に調べてください。	30分
	【復習】グループワークで分析した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第4回	経営環境分析とは 内部環境分析について、SWOT分析、3C分析、VRIO分析などの手法についてを紹介します。グループワークでは、これらの手法で、実際の企業について分析してもらいます。	
	【予習】興味のある企業における経営環境について、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで分析した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第5回	企業戦略とは 事業ドメインや戦略の方向性をどのように決定するのかについて学びます。グループワークでは、アンゾフの成長ベクトルなどのフレームワークを用い、興味のある企業の成長戦略について考察してもらいます。	
	【予習】興味のある企業を1社選定し、ホームページなどから、その企業の成長戦略について事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第6回	企業戦略とは 多角化戦略、ブルー・オーシャン戦略、戦略キャンパスなどについて学びます。グループワークでは、興味のある企業について、フレームワークを用いて戦略を考察してもらいます。	
	【予習】興味のある企業を1社選定し、ホームページなどから、その企業の戦略について事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第7回	事業戦略とは ポーターの競争戦略について主要な考え方を学び、グループワークでは、実際に興味のある企業について分析します。	
	【予習】興味のある業界において、競争業者、新規参入業者、買い手、供給業者、代替品を、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】ポーターの5つの競争要因についてグループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第8回	事業戦略とは 競争地位戦略、ランチェスター戦略など、業界のポジショニングに応じた戦略について学びます。グループワークでは、興味のある業界においてどのような企業が存在するのか、どのような戦略を行っているのかについて、考察してもらいます。	
	【予習】興味のある業界においてどのような企業が存在するのかを調べ、それぞれどのような戦略を立てているのかについて、整理してください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分

第9回	機能別戦略（販売戦略）とは マーケティングにおける代表的な理論について学びます。グループワークでは、マーケティング・ミックスの概念に基づき、関心のある企業の販売戦略について分析してもらいます。	
	【予習】関心のある企業について、製品、価格、流通、広告について、どのような戦略をとっているのか、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】販売戦略についてグループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第10回	機能別戦略（技術戦略）とは イノベーションの概念を中心に、技術戦略の動向について学びます。講義では、映像資料や新聞記事などを用いて、最新の事例について紹介します。また、Googleフォームなどを活用しながら、意見交換をしていきます。	
	【予習】身の回りでどのようなIT技術が用いられているのかを調べ、企業経営におけるIT技術の活用法について、自身の意見をまとめてきてください。	30分
	【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。	30分
第11回	機能別戦略（生産戦略）とは ジャスト・イン・タイムやかんばん方式、サプライチェーン・マネジメントなど、代表的な生産戦略について学びます。講義では、映像資料や新聞記事などを用いて、最新の事例について紹介します。また、Googleフォームなどを活用しながら、意見交換をしていきます。	
	【予習】トヨタ生産方式について、ホームページなどを参考に、事前にまとめてきてください。	30分
	【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。	30分
第12回	機能別戦略（組織戦略）とは 企業間の提携や買収などを通して、企業組織がどのような成長を遂げるのかについて学びます。また、M&Aの是非について、グループで議論してもらいます。	
	【予習】近年行われたM&Aの事例について3件以上調べ、案件の概要をまとめてきてください。	30分
	【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。	30分
第13回	機能別戦略（財務戦略）とは 企業価値の概念や財務的マーケティングの視点について学びます。グループワークでは、関心のある企業の財務戦略について考察してもらいます。	
	【予習】ホームページの企業のIR情報から、関心のある企業の財務データについて目を通しておいってください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第14回	経営戦略の実行 PDCAやBSCなどの企業が経営戦略を遂行するために使用するフレームワークや、戦略を実行するための課題などについて学びます。グループワークでは、各自が計画を実行するためにどうするべきかについて、議論してもらいます。	
	【予習】計画を実行するために、どのようなプロセスを経るのか、自身の考えを整理してきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第15回	総括	
	【予習】授業内で配布した資料やノートに一通り目を通し、これまでに学んだ内容を総復習してから受講してください。	60分
	【復習】	0分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	受講態度および授業中に指定する課題への取組み（60%）、期末レポート（40%）、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	指定なし	使用資料 <参考図書>	寺本義也、岩崎尚人『新経営戦略論』（学文社）
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。また、グループワークやレポート課題では、企業の戦略などについて、事前の予習が大切となります。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日1時限		

授業科目名	情報関係法	科目コード	G4203P07
英文名	Environment and Law		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営環境		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	後藤 智
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	3年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	現代社会は、「(高度)情報化社会」と表現されることがあります。情報のデジタル化、IT化も進んでいます。このような社会では、「情報と法」をめぐる様々な新しい問題が提起されてきています。この授業では、そうした問題を「人権(の保障・実現)」との関わりで捉える視点を身につけることが目指されます。指定した教科書には「情報と法」をめぐる15のテーマが取り上げられていますが、そのうちすべてを授業で取り扱うことはできません。大学生生活や将来の社会生活を送る際に知っておく・考えておくことが必要と思われるいくつかのテーマを選択して学びます。とくに、個人情報保護の制度と情報			
-------	---	--	--	--

キーワード	情報法	人権保障	個人情報	情報公開	サイバースペース
-------	-----	------	------	------	----------

到達目標	<p>目標 : 情報や通信の意義を把握し、それがどのような人権との関わりを持つものであるかを理解できるようになる。</p> <p>目標 : 情報や通信をめぐる様々な法制度の存在を把握し、その概要について理解し説明できる。</p> <p>目標 : 現代社会における個人情報の「保護」と「利用」の関係や行政機関の持つ情報の公開の制度についての基本的な視座を学び、問題の所在について認識できるようになる。</p>			
------	---	--	--	--

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	4.社会人としての能力(社会性の向上)
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、この授業の目的、成績評価の方法、受講上の注意など。 「情報」とは、「情報に関する法」とは。	
	【予習】指定教科書の該当箇所は必ず読み、わからない箇所等は事前に調べたり、質問項目を用意したりしてくること（第2回以降も同じ。下の「授業外学習等」の欄も参照）。	30分
	【復習】「授業外学習等」の欄参照（第2回以降も同じ）。	30分
第2回	1 情報や通信と憲法上の人権	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	2 情報通信の保障の仕組み	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	3 ネット上の名誉毀損、営業妨害とそれに対する法的責任	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	4-1 知的財産の法的保護	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	4-2 著作権（知的財産の一種）の法的保護とドメイン使用に関する法規制	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	5 サイバースペースでの商取引と法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	6-1 個人情報保護法制 (1) 個人情報保護の必要性 設例についての考察 (2) 個人情報保護法制の基礎知識 「プライバシーの権利」と個人情報保護 ・個人情報保護の必要性、保護法制の歴史、法律制定の経緯、3つの個人情報保護法（個人情報保護制度の全体像）	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第9回	6-2 個人情報保護法制 (3) 個人情報保護法の内容、性格 (4) 個人情報保護の具体的な仕組み：保護しなければならない個人情報とは、個人情報取扱事業者とは、個人情報取扱事業者の義務など	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	6-3 個人情報保護法制 (4) 個人情報保護の具体的な仕組み（続き）：本人からの開示・訂正・利用停止等の請求とその効果、罰則 (5) 個人情報保護と「マイナンバー」制度	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第11回	7 スパムメールによる被害とそれへの対処方法	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	8 行政手続のオンライン化に関する法的規律	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	9-1 情報公開法制 (1) 情報公開制度とは何か：行政情報の公開とその意義、法の目的 国民主権、「知る権利」との関係 (2) 情報公開法制と個人情報保護法制	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	9-2 情報公開法制 (3) 情報公開制度の具体的な仕組み 1) 行政文書の開示請求 開示請求権と開示義務 ・誰が、どんな内容の情報を、誰(どの機関)に対して、どのように開示請求するのか。開示方法と手数料 2) 不開示情報、部分開示、裁量的開示、存否情報の不開示	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	9-3 情報公開法制 (3) 情報公開制度の具体的な仕組み（続き） 3) 不開示・非公開の場合の救済制度：不服申立制度 (4) 情報公開法制と秘密保護法制	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第16回	期末試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<p>期末筆記試験（70％）と受講態度（30％）とによって評価します。 講義時間中に授業内容理解度テストを実施したり、課題を課した場合には、それをも加味した評価を行います（期末筆記試験配点分の一部をそちらの評価分に充てます。その場合の点数配分については授業中に明示します）。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。</p>		
使用資料 <テキスト>	米丸恒治編『18歳からはじめる情報法』（法律文化社、2017年）。行政機関情報公	使用資料 <参考図書>	宇賀克也『新・情報公開法の逐条解説[第7版]』（有斐閣、2016年）、同『個人情報保護
授業外学修等	<p>情報公開制度については総務省のWebサイト上に詳しい説明があります。個人情報保護についても、国の各省庁ごとの取組みがWeb上で確認できます。それらを読むなり、印刷して授業に持ってくるなりしてください。こうしたものや授業中の配付資料・テキストを使った予復習が必要です。問題演習課題は必ず自学習することが求められます。図書館にある参考文献等も読み、授業ノートを補充するようにしてください。</p>		
授業外質問方法	<p>メール等での質問も受け付けますが、原則としては、直接会ってやりとりをしたいと考えます。そのほうが、的確に対応できるからです。オフィス・アワー以外の時間でも対応可能なときもあります。これについてはメール等で問い合せてください。メールアドレスは、授業時間中に伝えます。</p>		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限		

授業科目名	情報メディア論			科目コード	G4503P02
英文名	Information Media Theory				
科目区分	経営情報専攻科目 - 情報システム				
職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	情報メディア、特に画像・動画・音声処理の概念とその処理手法を理解するとともに、処理技術の応用面に関する知識を広める。また、画像編集ツールGIMP、Inkscapeについての解説も行なう。さらに、PC上にてVisual Basic等の開発環境のもとで簡単な画像処理プログラムを作成して情報メディア全般の技術の基本を体得する。				
キーワード	情報メディア	画像処理	コンピュータ	ソフトウェア	ハードウェア
到達目標	<p>目標： 人間の情報メディア処理のメカニズムを理解する。</p> <p>目標： 情報メディア技術の代表例として、画像入力、画像変換、符号化・蓄積、画像生成・表示技術を習得する。</p> <p>目標： PC上にてVisual Basic等の開発環境のもとで簡単な画像処理プログラムを作成して情報メディア処理技術の基本を学び、GIMP2やInkscapeなどの画像処理ツールにて情報メディア処理技術の実用技術レベルを体得する。</p>				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	情報メディア論の受講にあたって、本講座で扱うトピックス・全体像の説明 VisualBasicの使い方の説明	
	【予習】シラバスを確認する。	10分
	【復習】情報メディアの基本知識を確認しておく。	30分
第2回	情報メディアの代表例として、画像処理の工学的モデル、デジタルカメラモデル	
	【予習】配付資料（画像処理モデル、3原色RGBとWの表示）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディア、特に画像処理について基本知識を確認しておく。	30分
第3回	座標系とモデリング、画像・図形の幾何学的モデル	
	【予習】配付資料（モデリング、RGB分解画像表示）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディアの基本モデルについて確認しておく。	30分
第4回	基本変換、拡大・縮小・回転・アフィン変換	
	【予習】配付資料（画像変換、画像の成分別ヒストグラム作成）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディア、特に画像についてコンピュータでの基本的な処理方式を確認しておく。	30分
第5回	ビジュアル情報処理の光学的モデル、光と色・人の知覚・色と表色系	
	【予習】配付資料（光学モデル、モノクロ画像の量子化）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディアの特徴である、画像・動画の色情報について確認しておく。	30分
第6回	デジタル画像・動画・音声、標本化・量子化・階調・解像度・空間周波数	
	【予習】配付資料（デジタル画像のサンプリング・量子化）を読んでおく。	15分
	【復習】デジタル画像・動画・音声について、コンピュータでの処理方式を確認しておく。	30分
第7回	画像の性質を表す諸量、画像の統計量、ヒストグラム・中央値	
	【予習】配付資料（画像の特徴量）を読んでおく。	15分
	【復習】画像データの特徴について、ファイルフォーマット、格納形式について確認しておく。	30分
第8回	画素単位の濃度変換、トーンカーブ・ガンマ変換・ヒストグラム変換	
	【予習】配付資料（画像変換の実例）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディアの変換方式について確認しておく。	30分
第9回	多値画像の処理、カラー処理・画像間演算処理	
	【予習】配付資料（画像変換の実例2）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディア、特に画像についてコンピュータでの応用的な処理方式について確認しておく。	30分

第10回	領域に基づく濃淡変換、フィルタリング・平滑化・尖鋭化	
	【予習】配付資料（画像のフィルタリング処理）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディア変換、特に画像変換について確認しておく。	30分
第11回	空間周波数に基づく濃度変換、空間周波数の概念・フィルタリング	
	【予習】配付資料（画像の特徴量について）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディアのコンピュータでの自動認識技術の基本を確認しておく。	30分
第12回	カラーサンプル画像のRGB3原色分解画像の表示	
	【予習】配付資料（RGB分解画像表示）を読んでおく。	15分
	【復習】情報メディア、特に画像の分解処理方式について確認しておく。	30分
第13回	画像の量子化	
	【予習】配付資料（カラー画像の量子化）を読んでおく。	15分
	【復習】デジタル化したデータの特徴である離散データについてその基本を確認しておく。	30分
第14回	カラー画像の成分別ヒストグラム	
	【予習】配付資料（量子化画像の成分別ヒストグラム作成）を読んでおく。	15分
	【復習】画像処理応用として、画像の特徴量抽出技術について確認しておく。	30分
第15回	画像のモザイク化、フィルタリング	
	【予習】配付資料（画像のモザイク化）を読んでおく。	15分
	【復習】これまで学んだことを再確認する。課題レポートを作成する。	30分
第16回		
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	授業への参加態度・ミニレポート(30%)、課題レポート(70%) 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	プリントを配布、必要に応じてスライド表示する。	使用資料 <参考図書>	「ビジュアル情報処理 - CG・画像処理入門 - 」(画像情報教育振興協会発行)、Vis
授業外学修等	15分以上の遅刻は入室禁止。配布されたプリントにて事前学習しておくことが望ましい。 情報メディア処理プログラムの作成を行なうのでノートPCなどの活用を勧める。		
授業外質問方法	共有ファイルサーバに、授業で配布する講義資料をアップロードする。 質問等は、メールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。		
オフィス・アワー	水曜日 1 時限		

授業科目名	地域文化論	科目コード	G1202P03
英文名	Regional Culture		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目		
------	------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	竹島 慎二
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	近年、加速度的に激しさを増している社会の変化や、価値観やライフスタイルの多少多様化する中で、己のアイデンティティを構築する為の方策の一つが、我々が生活を営んでいる地域の文化の特質を探り、その中から醸造されてきた己を知ることである。郷土に拠って立っているという自覚が、郷土への愛着と誇りを持つことにつながり、延いては郷土の発展の原動力となる。本授業では、「文化とは感動を伝えること」との定義のもと、富山の文化を、深く心を動かされる事件、現象、人物などから探っていきたい。				
-------	--	--	--	--	--

キーワード	人	県民性	事象	近代化	地名&遺産
-------	---	-----	----	-----	-------

到達目標	1 文化とは人間の生活の営みすべてであることを理解し、地域の住民の意識に作用し、生活に活力を生み出すものであることを理解する。				
------	---	--	--	--	--

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）				
-----------	----------------------	--	--	--	--

カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上				
------------	------------------	--	--	--	--

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1 授業計画&文化論概説 本授業科目の目的、授業計画、履修上の留意点などを説明し、「文化とは何か」を説明する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	2 富山県の歴史と文化 その1（古代・中世概論） 古代・中世における越中と中央政権との関係を人物・事件などとおして説明する	
	【予習】	0分
	【復習】レポート提出（越中に関係する人物を古代or中世から1人採り上げる。）	0分
第3回	3 富山県の歴史と文化（近世概論） 富山藩成立と歴代藩主の治績をとおして近世の越中の歩みを説明する。	
	【予習】越中売薬の意義を調べる。	60分
	【復習】	0分
第4回	4 富山の近代化（ ） 富山県の誕生の歴史的背景、初代県令の施策から、富山の地域的特性を説明する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	富山の近代化（ ） 明治以降の国&県の近代化へ向けての明治～現代にいたる課題を検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】レポート提出（4代、14代のいずれかの官選知事の代表的施策を考える。）	0分
第6回	5 風土と地名（ ） 地名に隠された県内地域の地形、地勢を検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	風土と地名（ ） 地名の消滅の背景を行政の施策から説明し、地名の持つ意味を検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】レポート提出（変わった地名を採り上げ、その意味を考える。）	0分
第8回	6 県民性 富山県人の気質や県民意識の側面からどのような特徴が見られるかを検討する。	
	【予習】「越中強盗」と「加賀乞食」を考える。	60分
	【復習】	0分

第9回	7 イベントと地域の発展 富山発展の要因となった博覧会・共進会・国体などのイベントを説明する。	
	【予習】「一府八県連合共進会」開催の背景を考える	60分
	【復習】	0分
第10回	8 教育と人材の育成 近代教育の目的と高等教育機関の設置を通して教育のメリット、デメリットを検討する。	
	【予習】馬場はる、南原繁について考える。	60分
	【復習】	0分
第11回	9 戦争と忠魂碑 県内の忠魂碑、忠霊塔を紹介することによって、郷土と対外戦争との関わり、戦争後の施策、戦後の変化などの検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	10 宗教心と文化 仏教、神道の宗教活動が県民の習俗に与えた影響を検討する。	
	【予習】宗教的地名の多さを考える。	60分
	【復習】レポート提出（身近な宗教行事を採り上げ、背景と意義を考える。）	0分
第13回	11 秉燭の人（文化の形成者）（ ） 多大の功績を残した県内出身者を育んだ土壌、県人の評価を説明し、県民性を検討する。	
	【予習】	0分
	【復習】レポート提出（自分にとっての「秉燭の人」を採り上げ、その功績、採り上げ理由を考える。）	0分
第14回	秉燭の人（文化の形成者）（ ） 富山県出身の財界人の日本経済史、産業史における足跡を説明する。	
	【予習】	0分
	【復習】JR鶴見線の「浅野駅」、「安善駅」を考える。	0分
第15回	12 まとめ（アクティブ・ラーニング） 郷土富山の文化の特質を各自で考え、発表することによって、富山の未来を考察する。	
	【予習】	0分
	【復習】レポート提出（文化とは何か？）	0分
第16回	試験	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	試験：（５０％）、レポート：（３０％）、平常点（出席数）：（２０％） 合計：１００％		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	<ul style="list-style-type: none"> ・『富山県史 通史編・資料編』 ・『富山県人』 ・『越中から富山へ』
授業外学修等	特にはし		
授業外質問方法	授業終了時の理解度の確認		
オフィス・アワー			

授業科目名	TOEIC	科目コード	G5302P05
英文名	TOEIC		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語展開		
------	-------------------------	--	--

職名	講師	担当教員名	伊藤 雄馬
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	TOEICのリスニングセクションを利用して、リスニングとスピーキングに関するアクティビティを行います。		
-------	---	--	--

キーワード	TOEIC	Listening	Speaking		
-------	-------	-----------	----------	--	--

到達目標	Students will... 1. apply the techniques learnt from this class to TOEIC 2. reproduce English in the text book				
------	--	--	--	--	--

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)				
-----------	---------------------	--	--	--	--

カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
------------	-----------------	--	------------------	--	--

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction Part3, 4	
	【予習】	0分
	【復習】 Task	60分
第2回	Part3, 4	
	【予習】 Vocabulary	60分
	【復習】 Task	60分
第3回	Part3, 4	
	【予習】 Vocabulary	60分
	【復習】 Task	60分
第4回	Part3, 4	
	【予習】 Vocabulary	60分
	【復習】 Task	60分
第5回	Part3, 4	
	【予習】 Vocabulary	60分
	【復習】 Task	60分
第6回	Part3, 4	
	【予習】 Vocabulary	60分
	【復習】 Task	60分
第7回	Part3, 4	
	【予習】 Vocabulary	60分
	【復習】 Task	60分
第8回	Mid term Exam	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	Part3, 4	
	【予習】 Vocabulary	60分
	【復習】 Task	60分

第10回	Part3, 4	
	【予習】Vocabulary	60分
	【復習】Task	60分
第11回	Part3, 4	
	【予習】Vocabulary	60分
	【復習】Task	60分
第12回	Part3, 4	
	【予習】Vocabulary	60分
	【復習】Task	60分
第13回	Part3, 4	
	【予習】Vocabulary	60分
	【復習】Task	60分
第14回	Part3, 4	
	【予習】Vocabulary	60分
	【復習】Task	60分
第15回	Part3, 4	
	【予習】Vocabulary	60分
	【復習】Task	60分
第16回	Final Exam	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ Attitude in class: 30% ・ Task :30% ・ Mid-term : 0% ・ Final exam : 40% 		
使用資料 <テキスト>	濱崎潤之輔 (2016) 『はじめて受ける TOEICテストパーフェクト入門』 桐原書店	使用資料 <参考図書>	各種辞書
授業外学修等	タスクを計画的に行うことを推奨します。やり方は講義内で説明します。		
授業外質問方法	研究室、eメールにて受け付けます		
オフィス・アワー	要事前相談		